

エコツーリズム推進の取組

エコツーリズムの潮流

- **【エコツーリズムの認知】**
1982年：IUCN第3回世界国立公園会議においてエコツーリズムが「自然保護の資金調達機能として有効」とされる。
- **【エコツアー展開】**
1993年：白神山地、屋久島が世界自然遺産に登録。この頃から、エコツアーを実施する民間事業者が各地で活動開始
- **【推進団体の設立】**
1998年：日本エコツーリズム推進協議会（現：日本エコツーリズム協会）設立。この頃、各地（西表島、屋久島、沖縄東村、等）で推進団体が設立される。
- **【各種制度の制定】**
2002年：「沖縄振興特別措置法」にエコツーリズム推進措置、「東京都の島嶼地域における自然の保護と適正な利用に関する要綱」で小笠原の利用のルールが設定。
- **【国策としての取り組み】**
2003年：エコツーリズム推進会議が開催され、エコツーリズム推進が国の施策として位置づけられる。
2007年：エコツーリズム推進法の成立。

国策としての取り組み

- 2003年：エコツーリズム推進会議スタート
- 2004年：5つの推進方策を開始（3年計画）
 - エコツーリズム憲章
 - エコツーリズム推進マニュアル
 - エコツアー総覧
 - エコツーリズム大賞
 - モデル事業
- 2007年：エコツーリズム推進法成立



エコツーリズムの概念

- **エコツーリズムとは、**
「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のありかた」
(エコツーリズム推進会議より)
- **エコツアーとは、**
「エコツーリズムの考え方を実践するためのツアーのこと」
(エコツーリズム推進会議より)

エコツーリズムの定義

- **エコツーリズムとは、**
観光旅行者が、自然観光資源について知識を有する者から案内又は助言を受け、当該自然観光資源の保護に配慮しつつ当該自然観光資源と触れ合い、これに関する知識及び理解を深めるための活動をいう。
(エコツーリズム推進法より)

成立させるために必要なもの

- ①地域の自然や文化に対する知識や経験の案内 = ガイダンス
- ②地域の自然や文化を保全・維持するための取り決め = ルール

エコツーリズム推進の意義

自然環境の保全と自然体験による効果

- ・利用に関するルールの設定による自然環境の保全
- ・観光旅行者や地域住民等の意識の高まり

地域固有の魅力を見直す効果

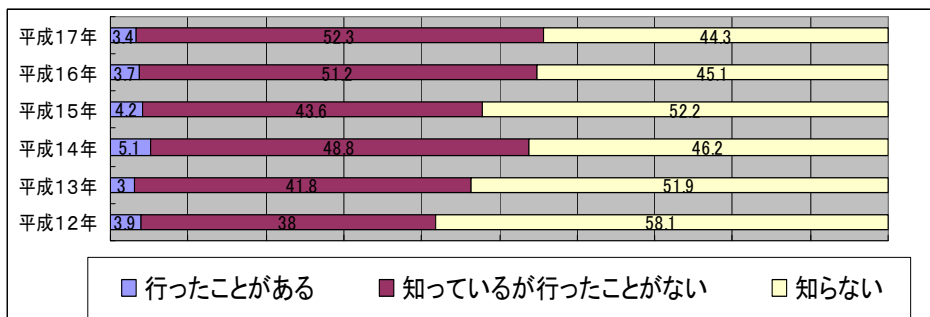
- ・我が国には亜熱帯から亜寒帯、原生自然から里地里山まで多様な自然風土
- ・様々な体験活動の提供が可能

活力ある持続的な地域づくりの効果

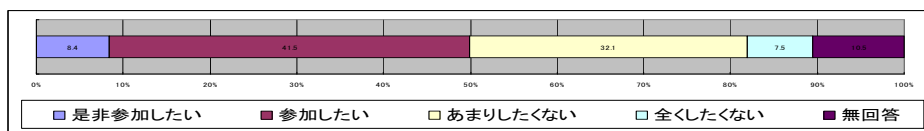
- ・観光地としての競争力の強化、新たな観光振興
- ・住民の地域への誇り

エコツアーの認知状況

エコツアーへの参加経験率と認知率

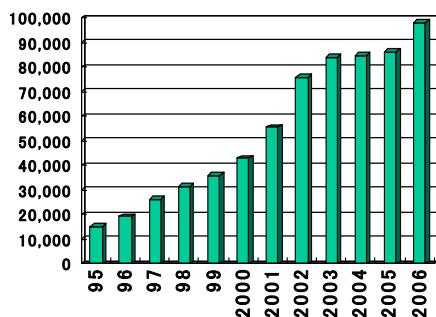


エコツアーへの参加意向(2007年)

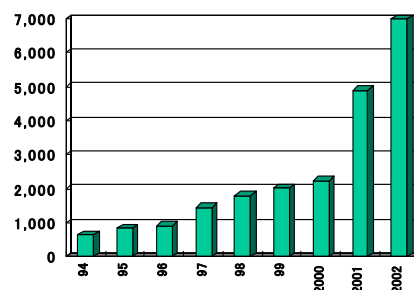


(財)日本交通公社調査

エコツアー参加者の状況



ホールアース自然学校参加者数(人)



星野リゾート・ピッキオ売上(万円)

(財)日本交通公社調査

豊かな自然の中での取り組み (知床、白神、小笠原、屋久島)



知床

(写真:(株)知床ネイチャーオフィス提供)



小笠原

(写真:(財)日本交通公社提供)



屋久島

(写真:(財)日本交通公社提供)

【特徴的なツアーの代表例】

- ・原生林と野生動物に会う
- ・流水ウォーク
- ・ホエールウォッチング
- ・フォレストウォーク 等

多くの来訪者が訪れる観光地での取り組み (裏磐梯、富士山北麓、六甲、佐世保)



富士北麓

(写真:(財)日本交通公社提供)



裏磐梯

(写真:裏磐梯エコツーリズム協会提供)



佐世保

(写真:(佐世保パール・シー(株)提供)

【特徴的なツアーの代表例】

- ・青木ヶ原樹海とコウモリ穴をめぐる
- ・湧水、湿原のミズバショウ等をめぐる
- ・豊かな自然の残る島々の文化や生活を体験する
- ・六甲山系の自然と共存した歴史や文化を学ぶ 等

里地里山の身近な自然、地域の産業や生活文化を活かした取り組み

(田尻、飯能・名栗、飯田、湖西、南紀熊野)



田尻



湖西

(写真:高島市提供)



飯能・名栗

(写真:飯能市提供)

【特徴的なツアーの代表例】

- ・マガンの飛び立ち・ねぐら入り観察
- ・生水(湧き水)の郷と水のある暮らし体験
- ・冬野菜の収穫とまんじゅうづくり体験
- ・桜の案内人と桜をめぐる 等

エコツーリズム推進法

基本理念

- ・自然環境への配慮
- ・観光振興への寄与
- ・地域振興への寄与
- ・環境教育への活用



自然観光資源

自然観光資源の定義

自然観光資源の例

私 たちの暮らしは、自然と密接に関わり、自然と共生してきました。自然環境の保全を考えていく上で、自然と密接に関連する人々の生活文化についても目を向ける必要があります。

「自然観光資源」には動植物の生息地や生育地などの自然環境のほか、自然と密接に関わる風俗慣習など伝統的な生活文化に関わるものも含まれます。



コウモリの住む洞窟



棚田



ブナの巨木



クジラ



カバタ
湧水を常に引き込みその水を炊事や洗濯に利用



河川

市町村が地域ごとに協議会を組織し、全体構想の作成と組織運営を行います

